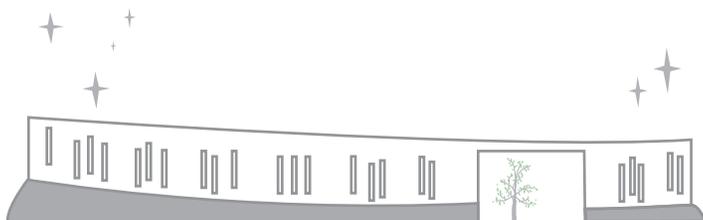


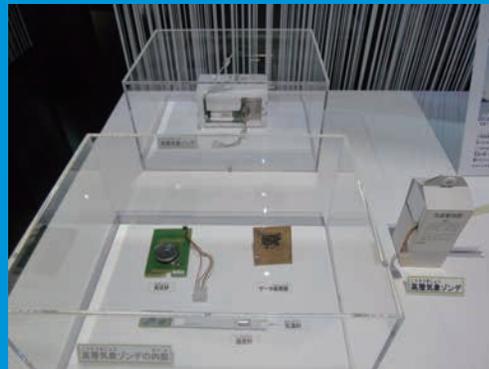
# 今月の展示 PickUp!

→>>> こんげつの てんじ びっくあつぷ



2014年5月号

今月のテーマは、  
「高層気象ゾンデ」  
です。



今月は「高層気象ゾンデ」を紹介するよ！  
紹介してくれるのは、平沢 尚彦（ひらさわ なおひこ）さんです。

高層気象ゾンデは、一辺が10cm程度の発砲スチロールの箱です。ヒゲのように飛び出た先端は気温と湿度のセンサーで、GPSアンテナも搭載しています。その重さは300g程度しかありません。ゴム気球に吊るされて空を昇りながら、連続的に気温・湿度を計測し、GPSシステムを利用して高度・気圧・風向・風速が計算されます。これらのデータは無線で地上局に送信されます。この観測は世界中で決まった時刻に行われ、高度約30kmまでのその瞬間の地球全体の気温・湿度・風の状態が把握されます。このデータをもとに天気予報が行われています。南極観測隊では、これ以外の時刻や場所でもこの観測を行い、気温の変化や降雪の研究を行っています。



平沢さんはどんなお仕事をしているのですか？

南極大陸の内陸域の降水量はサハラ砂漠よりも少ないにもかかわらず、3000mを超える厚さの氷床を作り上げてきました。私はその降雪の機構を研究しています。ダイヤモンドダストは毎日断続なく降り続いて降雪量の半分をまかしますが、残りの半分はたった数回の降雪イベントによりもたらされます。